

試験研究成果普及情報

部門	漁場管理・生産基盤	対象	研究
課題名：館山市伊戸地先における藻場消失の原因究明			
[要約]館山市伊戸地先において、藻場が部分的に消失しているとの情報提供があった。調査の結果、台風による物理的な海藻類の流失が藻場消失の原因であることが考えられた。			
フリーワード [※] 藻場消失、台風、館山市			
実施機関名	主 査	水産総合研究センター生産技術研究室	
実施期間	2009年度～2014年度		

[目的及び背景]

2009年春に館山市伊戸地先において、漁業者より藻場が部分的に消失しているとの情報提供があった。そこで藻場消失の原因を究明するため、海藻類の生息状況を把握し、植生及び繁茂状況に影響を与える要因について検討した。

[成果内容]

1 海藻類の生息状況把握

- ・2010年～2015年にかけて、海藻類の生息状況を把握するため、館山市伊戸地先3地点において採取調査を実施した。アラメ・カジメ成体及び1年目幼体の株数は年ごとに回復、衰退していることが確認された(図1、図2)。
- ・2010年8月の調査では、既に成体及び幼体が繁茂しており藻場は回復傾向であった(図3)。
- ・2012年10月の調査では、幼体が成体へと成長し、さらなる回復が認められた(図4)。
- ・しかし、2013年10月に大型台風が千葉県沿岸を通過した後の2014年1月の調査で、成体の消失が確認されたが、小さな幼体も多く観察できた(図5)。
- ・2015年1月の調査では、1年以上経過した幼体が繁茂し、藻場が回復傾向であることが確認された(図6)。

2 藻場消失原因の特定

- ・藻場消失が見られた2014年1月は、前年に大型台風が千葉県沿岸を通過しており、その後の2015年には藻場の回復が確認された。このことから、台風の影響によりアラメ・カジメの成体が流失した後、すぐに幼体が繁茂し、成体へと成長していることが分かった。
- ・以上のことから、館山市伊戸地先では、アラメ・カジメの成長・繁殖を阻害する要因は少なく、物理的な要因による藻場消失であると考えられた。

[留意事項]

- ・現地調査では、アラメ・カジメ類に一部食害生物による食跡が見られたため、今後は食害生物による影響に注意する必要がある。

[普及対象地域]

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

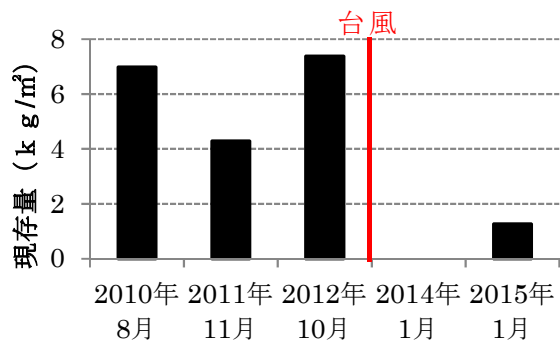


図 1 大型アラメ・カジメ現存量 3 地点平均

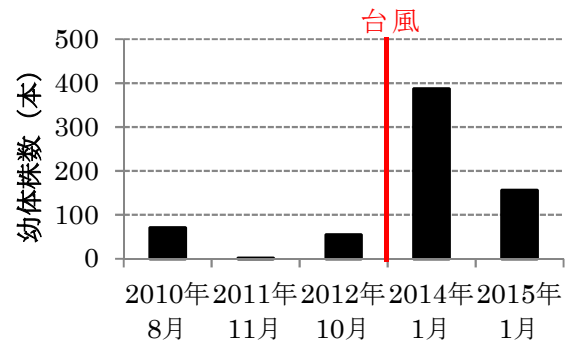


図 2 幼体株数 3 地点平均



図 3 2010年8月 成体・幼体繁茂



図 4 2012年10月 成体繁茂



図 5 2014年1月 藻場消失

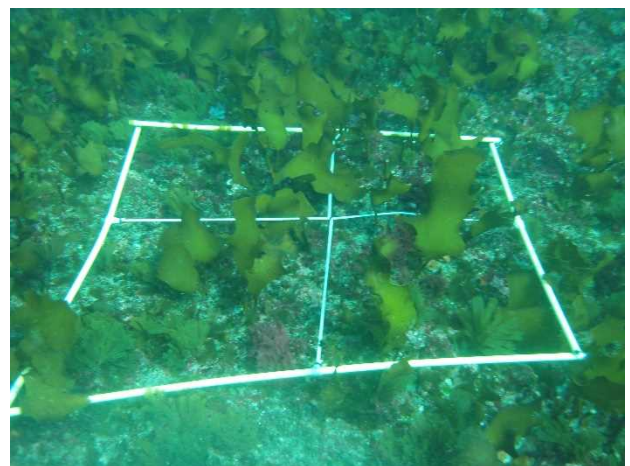


図 6 2015年1月 幼体繁茂

[発表及び関連文献]

・改訂 磯焼け対策ガイドライン 平成 27 年 3 月

[その他]